

## 荻窪中学校学校便り

令和6年2月29日発行

## 杉並区教育調査結果

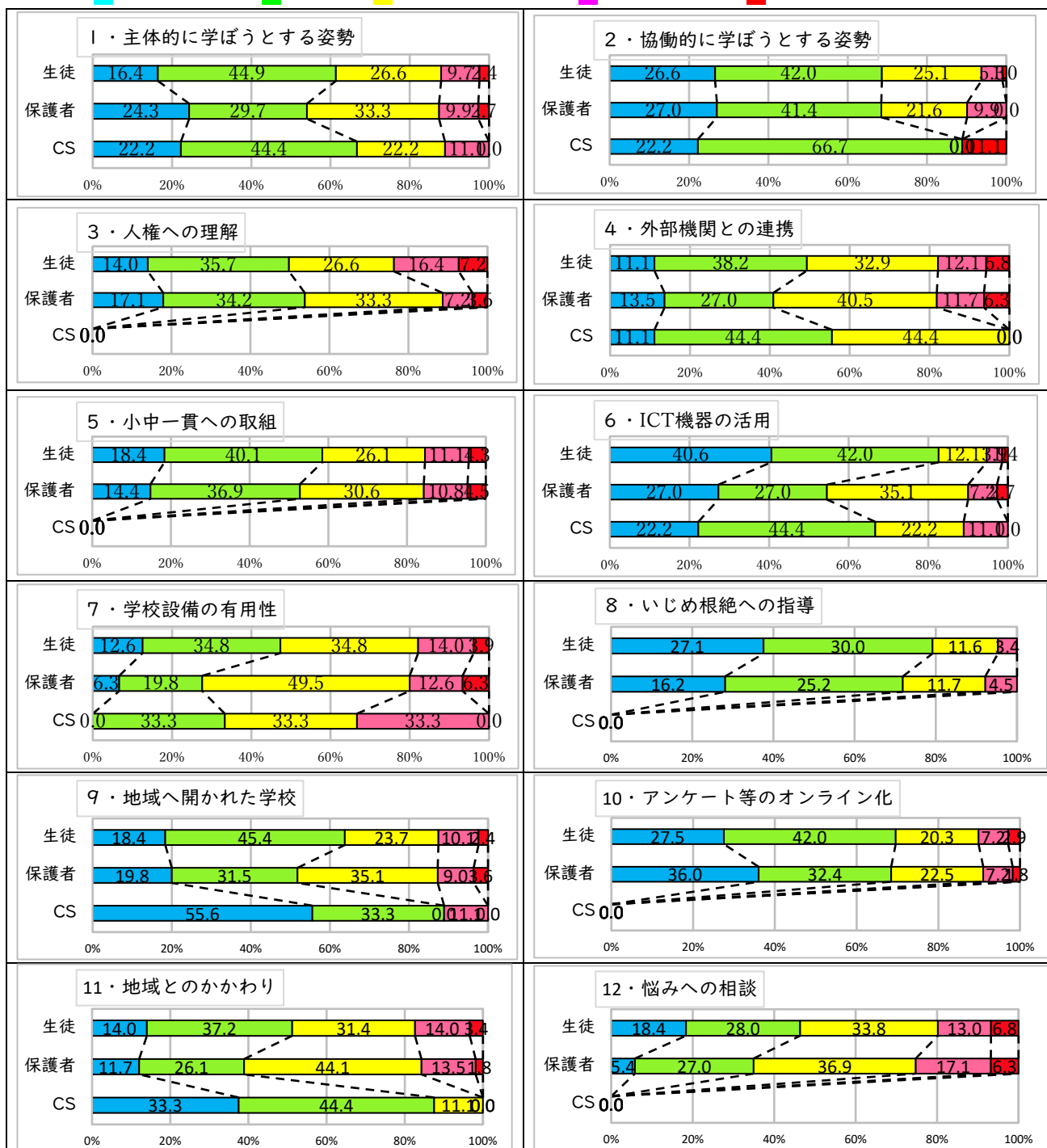
今年度の教育調査は、教育委員会から各ご家庭・学校運営協議会・教員に対してFORMSで行われました。保護者の回答率は約41%でした。ご協力ありがとうございました。

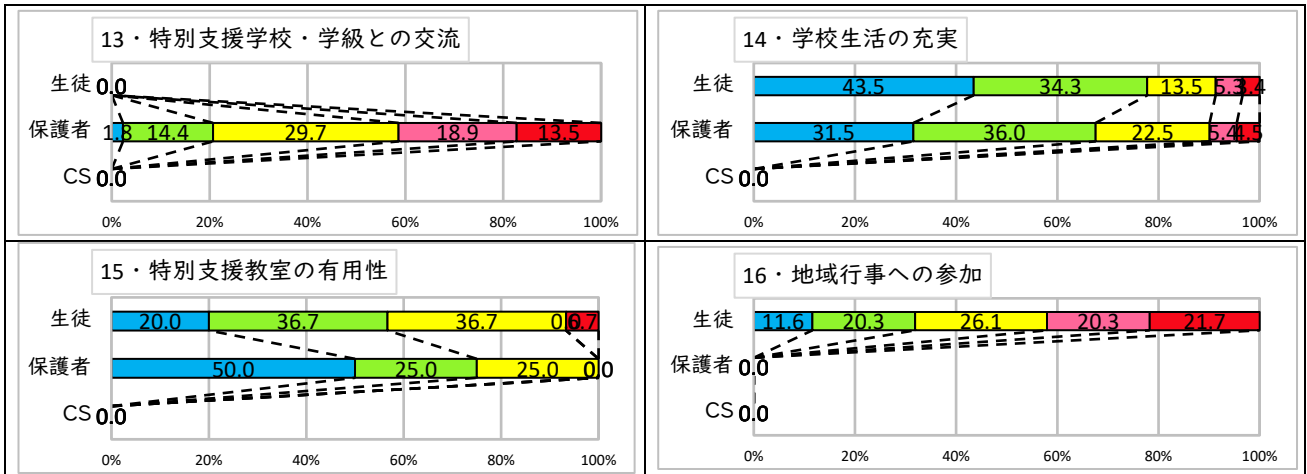
質問項目が一新されたため、経年比較はできませんでしたが、本校では保護者質問項目を基に生徒質問項目を作成し、以下のように「整理項目」としました。また、CSへの質問項目(※)においても関連性のある内容を「整理項目」に加えグラフ化し、三者について比較しております。

番号	質問項目(上段:保護者・生徒, 下段:CS)	整理項目
※ 1	授業で学ぶことにより、毎日の生活を、自分でよりよくするためにできることが増えている。 子どもたちは、学ぶ楽しさを実感しながら、問いや課題を自分なりに立て、自分なりの方法で解決したり探究したりする力が育っている。	主体的に学ぼうとする姿勢
※ 2	学校でみんなと一緒に過ごすことによって、社会を、自分たちで変えるための知識や考え方が身に付いている。 子どもたちは、違いを認め合って共に生きる大切さを実感しながら、それぞれの得意を生かしたり、苦手を補い合ったりする力が育っている。	協働的に学ぼうとする姿勢
3	学校で障害者、外国人、性的マイノリティ等の人権に関する多様な価値観について学んでいる。	人権への理解
※ 4	学校は、子どもが自分の興味や関心に基づいて学んだり探究したりできるよう、家庭、地域、民間の団体や企業等と連携している。 学校は、全ての子どもが自分の興味や関心に基づいて学んだり探究したりできるよう、家庭、地域、民間の団体や企業等と連携している。	外部機関との連携
5	連携する小・中学校による小中一貫教育(小・中学校の教員による協働授業、児童・生徒の交流など地域活動への参加等)が進められている。	小中一貫への取組
※ 6	児童・生徒1人1台専用のタブレット端末や学習eポータル、様々なデジタルコンテンツを、自分の学びや生活の必要に応じ、選択して活用している。 児童・生徒1人1台専用のタブレット端末や学習eポータル、様々なデジタルコンテンツは、子どもたちによって、その時々での学びや生活の必要に応じ、選択的に活用されている。	ICT機器の活用
※ 7	学校の教室や校舎、敷地内には、子どもたち自らが、学びや生活の必要に応じて選択的に活用できる多様な場を設けたり、様々な道具を備えたりする工夫がなされている。 学校の教室や校舎、敷地内には、子どもたち自らが、学びや生活の必要に応じて選択的に活用できる多様な場を設けたり、様々な道具を備えたりする工夫がなされている。	学校設備の有用性
8	学校は、いじめを絶対に許さないという雰囲気がある。	いじめ根絶への指導
※ 9	学校は、子どもの日常の学びの状況や評価方法について、参観、面談、HP、お便り等により充分提供している。 学校では、校長を中心に、教育目標や目標達成の基本方針、指導の重点について家庭・地域と協議し、子どもたちの思いや願いを尊重する教育課程を編成している。	地域へ開かれた学校
10	学校は、欠席等連絡、お便りの配布、アンケートの実施のオンライン化が進められている。	アンケート等のオンライン化

※ 11	学校では、教職員、他の保護者、地域の方等とかかわり、子どもの成長や学校生活について考えたり話したりすることができている。 学校では、授業や行事、学校生活の内容や進め方について、子どもたちが、学びや生活の主体であることを実感しながら、自分たちで考えたり教職員(学校関係者を含む)と話し合ったりしている。	地域とのかかわり
12	人間関係や自分自身の心の問題で悩んだとき、学校は、その解決を、きめ細かに支援してくれている。	悩みへの相談
13	学校は、通常の学級や特別支援学校、特別支援学級の子どもが相互に交流したり、一緒に活動したりする機会をつくっている。	特別支援学校・学級との交流
14	学校生活を楽しんでいる。	学校生活の充実
15	通級指導教室・特別支援教室で学ぶことによって、学校生活全般への参加がしやすくなっている。	特別支援教室の有用性
16	あなたは、地域の行事に参加している。	地域行事への参加

【結果】 青 とてもそう思う 緑 そう思う 黄 どちらともいえない 紫 あまり思わない 赤 まったく思わない (数字は%)



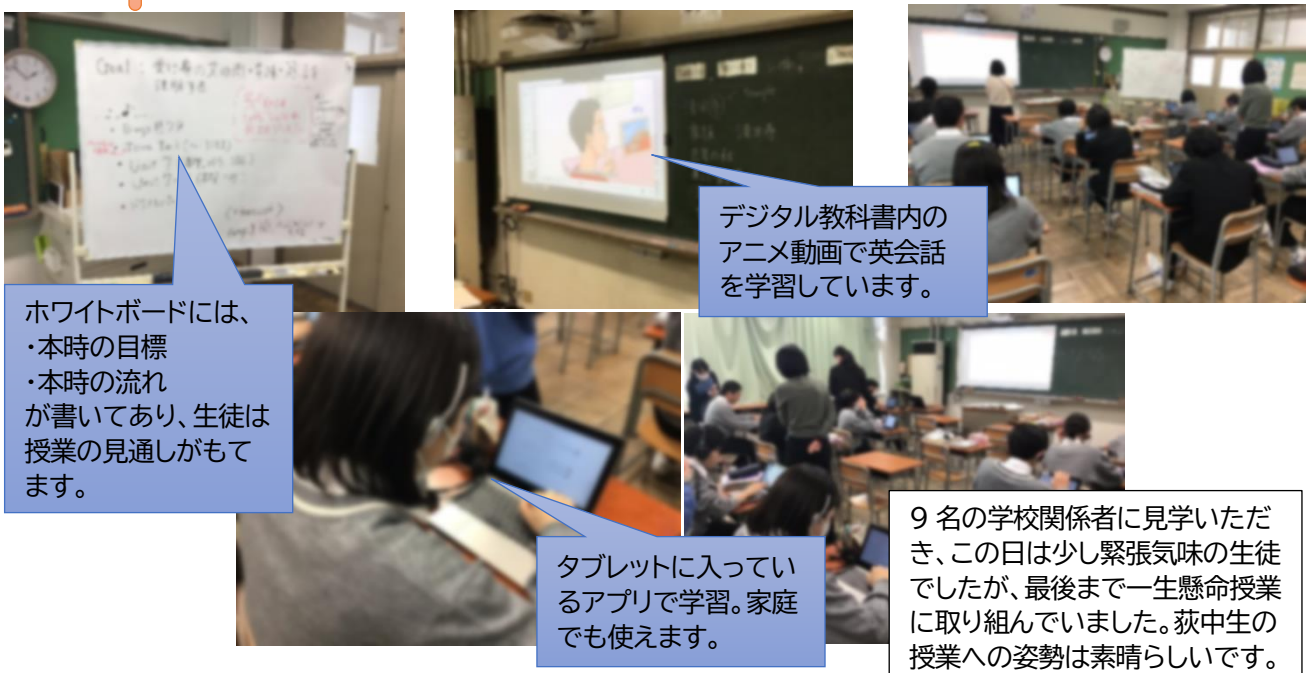


- 「16・地域行事への参加」については、保護者回答が極めて少数だったため、グラフ化していません。
- その他、グラフが0を示している項目については、アンケートを行っていません。

ほとんどの項目において、ある程度の肯定率を得ていますが、「どちらともいえない (黄)」の回答が非常に多く、これらの層を肯定側に引き入れることが課題となります。また、各項目においては、特に次の3点について、課題があると考えます。

- ① 「3・人権への理解」については、授業で取り扱っている内容を生徒に定着させることと、印象に残る授業展開をしていきます。
- ② 「11・地域とのかかわり」については、例えば職場体験で受け入れてくださった事業所さんのポスター等を作成する等、地域と協力することにより生徒だけでなく地域に還元できるような学習活動を提案していくことが必要です。学校支援委員会「おぎすけ」と連携し、地域人材を活用する企画をさらに充実したものにしていきます。
- ③ 「12・悩みへの相談」では、教育DX等の活用によって職務の時間短縮を図り、教師が時間に余裕をもって生徒と関われるような学校にしていきます。

## 2月6日(火) 教育DX 公開授業 2年英語



## 1月31日(水)～2月2日(金) 2年スキー教室



2学年のスキー教室は、菅平の大自然の中1月31日(水)～2月2日(金)に行われました。経験の有無によって技術の違いはあったものの、初日に弱音を言っていた生徒も、3日目には自信をもって滑っている姿が印象的でした。スキーは、どんなに転倒しても、恐怖心があっても、何度でも立ち上がったり、「楽しい」が上回ったりするときこそが、上達につながる瞬間です。この3日間の経験が、自分の生活に生きることが願いです。



### 表彰

【佐藤太清記念中学生絵画展】 [特選] 3年 □□ □□ さん [入選] 1年 □□ □□ さん  
 【第27回全国「図書館を使った調べる学習コンクール」】 [佳作] 1年 □□□ □□ さん  
 【ポプラ社2023全国学校図書館ポップコンテスト】 [キャッチコピー賞] 1年 □□ □□□ さん  
 【杉並区青少年善行表彰(以下のイベントに関わった生徒が表彰されました)】

「荻中フェスタ」こども実行委員会, 「iogi フェスタ」ボランティア, 「つくるあそぶたべる」ボランティア,  
 「万歩会」参加者, 「落ち葉掃き活動」ボランティア, 「ざりまるまつり」企画運営, 「杉並区次世代育成  
 基金駅頭募金活動」参加者

### 今後の予定

3月1日(金)	都立高校一般入試 発表日
3月4日(月)	3年 普通救命講習
3月6日(水)～3月8日(金)	荻中作品展
3月8日(金)	進路体験を語る・聞く会
3月11日(月)	防災講話(消防署)
3月19日(火)	卒業式
3月25日(月)	修了式